

- 問1 日本の諸地域の特色をまとめた統計において、人口が約532万人であり、豊かな自然環境を背景に宿泊施設の延べ宿泊者数が約356万人、温泉地数が244箇所と全国的にも上位に位置する一方で、国宝の指定件数が1件にとどまっている地域はどこですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
1. 関東地方                      2. 北海道地方                      3. 中部地方                      4. 九州地方
- 
- 問2 冬に降水量（降雪量）が多くなる北海道の日本海側の気候の特徴と、その発牛理由について説明した文として最も適切なものはどれですか。（2026年 岩手県公立入試 類似）
1. 夏に南東からの季節風が南西からの寒流の上を通る際に冷却され、上昇気流が生じるため                      2. 冬に北西からの季節風が南西からの暖流の上を通る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかるため                      3. 冬に南東からの季節風が北東からの寒流の上を通る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかるため                      4. 夏に北西からの季節風が北東からの暖流の上を通る際に冷却され、上昇気流が生じるため
- 
- 問3 北海道の石狩平野など、かつて植物が十分に分解されずに積み重なった湿地が広がっていた地域において、農業を可能にするために行われた土地改良の説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この地域では耕地面積のほぼすべてが畑や牧草地として利用されています。（2025年 群馬県公立入試 類似）
1. 他の土地から性質の異なる土を運び入れる「客土」を行い、あわせて排水施設を整備して土地を乾かした。                      2. 大規模なダムを建設して灌漑用水を確保し、もともと乾燥していた土地を水田へと変えるための水路を整備した。                      3. 気温の低さを克服するために、農地の周囲に防風林を設置し、ビニールハウスなどの温室栽培のみに特化した。                      4. 海岸線を大規模に埋め立てる「干拓」を行い、塩分を抜くことで大規模な機械化農業に適した土地を造成した。
- 
- 問4 北海道には「稚内（わっかない）」や「室蘭（むろらん）」など、特徴的な響きを持つ地名が多く存在します。これらの地名は、北海道やその周辺諸島に古くから住み、独自の言語や文化を築いてきた先住民の言葉に由来しています。この人々の名称として正しいものを選びなさい。（2016年 群馬県公立入試 類似）
1. えみし                      2. 屯田兵                      3. 防人                      4. アイヌ
- 
- 問5 1977年から2017年にかけての北海道における稲作の動向について、作付面積と総収穫量はともに減少していますが、1ヘクタールあたりの収穫量は増加傾向にあります。このように、一定の土地面積から得られる収穫量が増える背景として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 生産技術の向上や寒さに強い品種改良が進み、土地あたりの生産性が高まったため。                      2. 地球温暖化の影響のみによって、北海道全域が稲作に最適な亜熱帯気候に変化したため                      3. 化学肥料の使用を一切やめ、伝統的な手作業による農法に回帰したため。                      4. 政府の減反政策により、小規模な農家がすべて廃業して大規模農場に集約されたため。
- 
- 問6 北海道の十勝平野などで見られる、一つの耕地をいくつかの区画に分け、年度ごとにジャガイモ、小麦、てん菜（ビート）、豆類などの異なる作物を順番に栽培する農業手法を何といいますか。（2024年 滋賀県公立入試 類似）
1. 転作                      2. 二毛作                      3. 輪作                      4. 二期作
- 
- 問7 北海道二セコ町の月別外国人宿泊者数は12月から3月にかけて突出して多く、産業別の就業者数割合では飲食業・宿泊業が17.8%で最も高い数値を示しています。これらのデータから読み取れる地域の特徴として、最も適当な記述を選びなさい。（2026年 岩手県公立入試 類似）
1. 全国の平均と比較して製造業の就業者割合が極めて高く、外国人観光客は年間を通じて均等に宿泊している。                      2. 夏季の観光需要の高まりに合わせて外国人観光客が集まるため、年間を通じて農業の就業者数が最も多い。                      3. 外国人観光客の宿泊が夏場に集中しているため、冬場は観光関連産業の就業者が減少し農業へ移行している。                      4. ウインタースポーツを目的とした外国人観光客の増加に伴い、飲食・宿泊関連の産業が町の中心的な雇用を生み出している。
- 
- 問8 北海道ではパルプ・紙・紙加工品製造業が地域の主要な産業の一つとなっています。この工業が北海道で発達した背景として、最も適切な理由を選びなさい。（2021年 京都府公立入試 類似）
1. 大規模な消費地である東京圏に隣接しているため                      2. 海外から輸入した木材チップの加工に特化した貿易港があるため                      3. 内陸部に高度な技術を持つ機械部品工場が集積しているため                      4. 原料となる豊かな森林資源が豊富に存在するため
- 
- 問9 日本の諸地域のうち、北海道地方について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、北海道には世界自然遺産に登録された知床があります。（2018年 千葉県公立入試 類似）
1. 道庁所在地は旭川市であり、上川盆地の中心都市である。                      2. 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。                      3. 道庁所在地は釧路市であり、水産業の拠点となっている。                      4. 道庁所在地は函館市であり、本州との交通の要所となっている。
- 
- 問10 都道府県別にみた観光地の特徴に関する統計において、自然の観光地数が90か所以上、レクリエーション地数が250か所以上と際立って多い一方で、国指定の重要文化財（建造物）の数は30か所未満にとどまるという特徴を持つ都道府県はどこか、次の中から選びなさい。（2015年 岐阜県公立入試 類似）
1. 北海道                      2. 奈良県                      3. 東京都                      4. 京都府
- 
- 問11 札幌などの北海道西部に位置する都市では、冬の降水量（雪）が他の地域に比べて多くなる傾向があります。このような気候の特徴が生じる主な理由として最も適切な説明はどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）
1. リマン海流（寒流）の影響で冷やされた空気が、太平洋からの湿った風とぶつかるため                      2. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った北東風が、山脈を越えて流れ込むため                      3. 小笠原気団の発達により、南からの温かく湿った空気が年間を通じて供給されるため                      4. 対馬海流（暖流）の上を通る湿った空気が、北西の季節風によって運ばれてくるため
- 
- 問12 北海道の農業は、広大な土地を活かした大規模経営が特徴です。農家一戸あたりの耕地面積が全国平均と比べて極めて大きい背景や、その生産体制に関する説明として正しいものはどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）
1. 冷害を避けるために、ビニールハウスなどの施設を小規模な土地に密集させて栽培する方法が普及した                      2. 農業産出額を増やすために、狭い土地に多くの肥料や労働力を投入する集約的な農業が発達した                      3. 山がちで複雑な地形が多いため、小さな耕地を多数の農家で分け合い、人力による丁寧な管理が行われている                      4. 明治時代以降の開拓により一區画の農地が広く設定されたため、大型機械による効率的な生産が進んだ